



我が家のわんにゃお

月子ちゃんの 4番目の飼い主として、 ゆっくりと 心を通い合わせて13年。 安らぎの日々を、ありがとう!

大阪市／橋本都子さん&月子ちゃん

小学校3年生のときに東京から大阪に移ってきて以来、橋本都子さん宅には犬や猫がいつもいました。その当時、可愛がっていた猫たちのモノクロ写真を今でも大事にされています。そんな猫好きの橋本さん、ピアノで生計が立てられるようになり、実家を離れてひとり暮らしを始められます。猫もいっしょにと思ったものの、小さな我が家に猫を閉じ込めるのはいかにも可哀そう、自由な猫の生き方にそぐわないという想いから、きっぱりと猫を飼うのをあきらめてしまわれました。

そんな橋本さんの気持ちを翻させたのが、キジトラ白の月子ちゃんです。月子ちゃんは、数奇な運命の猫でした。最初の飼い主は“ルナ”と名付けて可愛がっていたものの、海外転勤で保護活動をされている方に預けます。そこでは、多くの猫たちからいじめられ、悲惨な毎日でした。救い出してくれた3番目の飼い主さん、“ルナ”から“月子”と名前も変えて溺愛してくれたのですが、何と深刻な猫アレルギーで体調を壊してしまわれました。事情知っている橋本さんが、乞われて4番目の飼い主さんを引き受けることになりました。

2008年、30年ぶりに猫を飼うことになった橋本さん、「とても、うれしかった!」。ただ、動物だって尊厳をもって生きていく時代です。月子ちゃんの生きたいように生きられるよう、共同生活を楽しむことにしました。そんな月子ちゃん、ほんとうに手のかからない仔だったそうです。しかも、ほとんど鳴くことのない仔でした。それが10年ほど経ってはじめて“にゃ〜”と鳴き始めたと思ったら、話しかけるたびに“にゃ〜、にゃっ”と答えてくれるようになりました。橋本さんのもとに通ってくるピアノの生徒さんにもなつくようになり、甘えたで賢い月子ちゃんの本分をいかんなく発揮はじめました。

唯一、月子ちゃんの弱点は、腎臓が弱いこと。ここ最近、月2回の点滴を受けていました。そして今年3月3日、食欲がなく、何となく様子がおかしい。念のため、いつものリュックキャリーに月子ちゃんを入れ、背中に月子ちゃんの体温を感じながら、動物病院に向かいました。そして、病院でリュックを下すと、月子ちゃんはすでに事切れていました。月子ちゃん、16歳の春でした。



ちゅっこ! これからは風になって
草原を 大空を 走りまわってね。

月子へ

もう13年、いっしょに暮らしたんだね。側にいるのが当たり前になっていた貴女、カギしっぽの猫は幸せをくれると云うけれど、本当にたくさんの喜びをくれたよ、ありがとう。

貴女のおかげでいろんな人にめぐり逢えた。新聞や雑誌のインタビューも受けて、よい経験をした。貴女はちょっと迷惑だったかも知れないけれど、でも、みんなに美人って云ってもらったね。

ほんとうに美しく賢い ちゅっ子、私はせいーばい愛したつもりだけれど、貴女を幸せにできたから。猫は大草原を走りまわるのが理想とっていた私、貴女はもう狭い部屋から解放されたのだから、これからは風になって 草原を 大空を 走りまわってね。私は心の目で それをながめているわ。

死に対しても誇りをもって向かっていったような貴女、心から尊敬するよ。

そしていつまでも忘れない。私の大事なちゅっこ。いつまでも私の心の中にいるから さよならじゃないんだよ。

都子ママより



▲橋本都子さんが描いた月子ちゃん

ちょっといいかも
トピックス

ワンちゃんの「腸活」に! 『丹波産野生鹿の胃袋』



GEORGE・OSAKA は大阪市西区鞆公園近くにある、犬・猫グッズのお店。並んでいるのは国内外からのセレクト商品、お店のオリジナル商品で、どれもオシャレなものばかり。今回紹介するのは、乾燥させた丹波産野生鹿の胃袋です。一瞬「えっ!」と思うかもしれませんが、鹿の胃袋は高タンパク質で低脂肪、必須脂肪酸であるα-リノレン酸やミネラルも豊富な上、整腸作用があります。低温乾燥(48度未満)で栄養分を逃がさず、シート状やスティック状にして食べやすくしたドライフードです。おやつやフードのトッピングとしてあげることで、ワンちゃんの「腸活」ができます。ちなみにウチの犬は歯がないので、胃の消化物を乾燥させた柔らかいシートを与えています。パッケージを見ただけで食いついてしまいます。(ペットシッター 八木理江)



■お問い合わせ: ジョージ(大阪店)
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-20-9
TEL.06-6147-2900 FAX.06-6147-2901
ホームページ:
<http://www.georgejp.com/index.html>
オンラインショップ:
http://www.wagmall.com/our_shops/

編集後記

「わんにゃお通信」を創刊したのはちょうど1年前。新型コロナウイルスの感染拡大でみなさんとのコミュニケーションがとりづらくなってきたのを懸念してスタートしたのですが、コロナとのお付き合いはまだまだ続きそうですね。

そんななか、最近、ペットを飼い始めたという声をよく耳にします。コロナ禍の自粛生活で人づきあいが減り、孤独や寂しさをいやす一助として犬猫が求められているといいます。ペットと共に暮らす喜びを一人でも多くの方に味わっていただきたいと願う私にとっては、こんなに喜ばしいことはありません。

一方、この非常事態のなかで、愛するペットを喪ったという声が次々に寄せられてきました。ともに生きてきた相棒ともいえる存在を亡くすことの哀しみは、はかり知れないものがあります。しかも、その哀しみを紛らわすことが難しい日常がつづく今、ペットを喪うことは精神的にも大きなダメージをもたらしかねません。

そこで今回は、ペットを飼う方ならいつもどこかで覚悟している「ペットロス」について考えてみることにしました。

「特集」では、西山ゆう子さんに「さよならのあとで」を寄稿いただきました。「いつまでもペットと一緒に」では、老犬介護施設メローのご紹介とメローで愛犬ヤマトくんをお世話いただいた相坂万里子さんの感謝の手紙、「我が家のわんにゃお」では、橋本都子さんから愛するちゅっこへの手紙を掲載しています。

ぜひ、みなさまのご感想やご意見をお聞かせください。

NPO法人ペットライフネット代表理事 吉本 由美子



ペットと暮らすシニア世代を支援するネットワーク組織

特定非営利活動法人ペットライフネットは、みなさまのご賛同とご支援で活動しています。

会員募集中

■わんにゃお会員: ペットライフネットのさまざまな活動に賛同し、積極的に参加して下さる方
会費: 年会費15,000円(一括払い)
■賛助会員: ペットライフネットの事業に共感し、会費で応援して下さる方
会費: 103,000円
[ご寄附・会費の振込先] ◎銀行: ゆうちょ銀行 ◎名称: 特定非営利活動法人ペットライフネット
◎店名: 四〇八(ヨンゼロハチ) ◎店番: 408 ◎種目: 普通預金 ◎口座番号: 5830454



NPO法人 ペットライフネット

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-9-37 ニューライフ本町1階
営業時間▶10:00~17:00
Tel: 06-6541-5733 Fax: 06-6541-5722 Mobile: 080-3821-6427
e-mail: wanyao@petlifenet.org <http://petlifenet.org/>